

◎お詫びとお願い

柴田 量司会報委員長

- 1、近頃会報の記事に、誤字、脱字、誤植等が目立ち会員或いはゲストスピーカーの皆様様に申し訳なく反省致して居ります。折角御投稿下さいました玉稿を、変えたかたちで発表してしまいます事は心からお詫び申し上げなければなりません。これというも時間的な制約があり充分校正出来ない現状で、様々な事情もあり早急に改善することは無理かと存じますが、努力致して居りますので何とぞ御寛容の程お願い致します。
- 2、やがて昭和46年も終わろうとして居ります。逝く年、来る年を数文字の文章にたくして、皆様の感慨を会報によせて下さい。書く事により一つのしめくりが生まれるかも知れません。多数の会員から投稿があり増大号を作らなければならぬ苦心も亦楽しいと思えます。又会報の第一頁をかざるカットも同様御願ひ致します。

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率 (%)
46. 12. 8	45 名	34 名	11 名		
46. 12. 1	45 名	37 名	8 名	8 名	100%
在函クラブ	(11/25) 函館R.C. 94.26%	(11/30) 函館東R.C. 97.59%	(11/26) 函館五稜郭R.C. 100%		
11月平均	函館R.C. 94.29%	函館東R.C. 96.75%	函館北R.C. 99.26%	函館五R.C. 98.84%	

次回の例会日 12月22日

1、夜間例会 2、クリスマス家族会

(椎谷龍彦会報委員)

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所

函館市若松町15-7拓銀ビル9階

ロータリー合同事務所

☎. (0138) 23-3870



例会場 函館市若松町拓銀ビル7階

五島軒駅前支店

例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1971. 12. 22

第378回 例会

1971~1972 第23号



Good Will

Begins With You

善意は先ずあなたから

(ブライツホルツ R. I. 会長指針)

俣野純夫 会員

本日のプログラム

「クリスマス家族会」

第 377 回 例会 記録

- ◎司 会 船矢健喜智会長
- ◎ビジター 岩内R.C. 小林 栄君 (書籍販売)
- 森 R.C. 菊地 忠義君 (タクシー業)
- 函館R.C. 棟方 忠君 他4名
- 函館東R.C. 吉川 正直君 他8名
- 函館五R.C. 村田 栄司君 他2名
- ◎会長報告  
オリンピック記念委員会から記念のパナーが参っております。
- ◎幹事報告  
(1)札幌東R.C. 函館東R.C. から例会時間及例会日の変更の案内がきております。
- ◎斉 唱 それでこそロータリー

(2)1966~1967年度のR.I. 会長であられたリチャード・エバンス氏が11月1日に亡くなりました。心からお悔み申し上げます。

(3)今月第4回クラブアッセンブリーを開く予定でしたが、年末でもありますので、新年に廻したいと思えます。

(4)例会終了後理事会を開きますので理事の方はお残り下さい。

#### ●新睦活動委員会

(1)クリスマス家族会の時、プレゼント交換をいたしますので、家庭で作られました品物(何でもよろしゅうございます)各1点会場迄持参下さい。(必ずサインをして下さい)

(2)例会終了後クリスマス家族会の打合せをしますので、委員の方はお残り下さい。

#### ●ニコニコボックス

(1)野村会員 テレビ出演を記念して、「明かるい漁村・珍味加工」と云う題で、12月19日AM6.30分~6.55分NHK・TVの放送がございます。

(2)川筋会員 本年度の漁期を無事終了して。

#### ●卓話 「ヨーロッパのたばこ事情」

山本 克己会員

一部を除いた世界中のあらゆる所で葉たばこが生産され、製造され、販売されておりますが、その中で良いたばこが圧倒的に多様にでき、製造本数も販売数も多いというのは何と云ってもアメリカ合衆国であります。しかしアメリカのたばこはアメリカンブレンド・アメリカ巻きという言葉で表わされているように使用する原料も同じですし、製造工程も大同少異、又味もそう変わらないという意味であり興味ないのですが、そこへいきますと、ヨーロッパのほうは国によって葉たばこの出来る国、出来ない国、専売制の国、完全民営の国、或いは中間の国、それから使用する原料も多種多様でございます結果的にも、出来た味も非常にバラエティーに富んでいるので興味があります。

まず最初、ヨーロッパの主な国のたばこ産業の概要についてお話し致します。最初、イギリスからですが、イギリスは現在葉たばこを国内では生産しておりません。これにはいろんな事情があると思うのですがその1つにはイギリスが高緯度にあるということ。大体たばこというものは亜熱帯の原産物で、高緯度である寒冷地方にはあまり良いたばこが出来ません。寒冷であると同時に日照も少ないということで、そういった理由も多くございます。

それから歴史的に見てみますと、イギリス国内に最初に喫煙の風習を広めたのはウォルト・アラレー卿だと云われてますが、その時の王様ジェームズ一世をはじめ、チャールズ一世、チャールズ二世、或いはジェームズ二世は大体たばこ嫌い、国内でたばこの生産をすることを禁止したということです。このような歴史的な事情もありまして、現在、国内では生産されていない。したがって全部を輸入に頼っているのですが、中でもアメリカ合衆国からの輸入が圧倒的に多く、イギリスとアメリカの関係もたばこを抜きにしては考えられないという程のことでございます。16世紀初頭、イギリスの初めての植民団がアメリカに渡りジェームズタウンを本拠とし、たばこを本国に輸出して生計を立てていたということ。又本国では、たばこ貿易で巨額の利益を博してイギリスの植民地政策を不動のものにしたと言われております。

それで当時の偉大なる女王、バージンクイーンのエリザベスの名に因んで、その地にバージニアという名をつけたのが現在のバージニア州だと云われております。このバージニア州というのが、たばこを作る為にあるような所で、ここで出来たたばこは非常に豊潤な香りがするというので、葉たばこのことを一名バージニアリーフと呼んでる程でございます。結局、イギリスの特徴として、ほとんどアメリカ産の原料を主体にしているということでストレートバージニアタイプという風に云っております。

又、その輸出・輸入する葉たばこの税金が高く、年間の収入が国家財政収入の12%にも及んでいるという程でございます。このような高いたばこを使いますので製品も割とレギュラーサイズとかミニサイズが多いということです。

それから、巻の外観、たばこの外観皮質が良くなって来ているようです。というのは、良いたばこを使って、良い機械で巻いて、できるだけ均一にたばこを詰めるといった装置がイギリスでは非常に発達しているのです。これも特徴の1つであると思えます。

又、大体たばこというのは世界的に見ても、2回香料をかけますが、イギリスのたばこは全然加工していないのです。何かそこに伝統を重んずる気質といったものが感じられます。このような高いたばこをハードボックス・ハードパッカーというのですが、イギリスにはこのハードパッカーが非常に多いという訳です。やはり良いたばこには良い包装が必要だということ、持ち歩く際に巻きをいためない、ということからきてると思えます。

生産高は1969年のデータでは1,440億本、日本では当時2,080億本ですから大体4分の3ということになります。又イギリスは民営でありまして4つのグループで経営されていますが、大体どこの工場でも多種少量生産ということで、人手がかかる為、なかなか機械化、自動化が出来ず、合理化はあまり進んでおりません。イギリスはEEC加盟ということで、たばこ業界もその温床的な奮闘気を打破しようという積極的な意欲が乏しく感じられます。

有害表示に関しましては、たばこを飲むとあなたの健康に害があるかも知れません。とたばこに表示したり、BBC放送では一切広告を禁止したり、たばこを飲まない人は生命保険の割引も実施して居ります。

スエーデンには我々も非常に期待して行った訳です。というのはスエーデンには世界で一番能率的というか、近代的な工場があるということだからです。

スエーデンは専売、恩給法の施工による財源を得る為に専売制がとられたと云われています。日本の専売が明治37年に日露戦争の戦費を捻出するために専売制をとったというのと対比しまして、お国柄がわかって興味あると思えます。但し、1961年にたばこ流通網の自由化が行なわれ、続いて1967年には製造部門の自由化が行なわれまして、現在は法的には専売制は廃止ということになっております。したがって現在では、スエーデンたばこ株式会社と云う。これは国家資本99%の独占資本ですけど、事実上国内の製造販売に従事しているという形になっております。

製造工場は5ヶ所ありますが、我々がまいりましたのはコペンハーゲンの海岸にあるマルモ工場です。この工場は船のような形で、地上1階、地下1階で建物には完全に窓がないというのは寒冷地ですので、できるだけ外気との接触を断つ、という意味からです。それから40m四方は全く柱がなし、ということで機械と設備の連絡が非常に理想的にできる。それから特徴として、原料加工の部門、原料たばこをきざみにするまでの部門、これも完全無人で中2階にリモコン室があり、そこで年をとったおばさんがボタンを押したり、スイッチを操作していました。他にも特殊なコンベアーを用いて、自動的に巻きあげ機と包装機が直結されている。とか確かに合理化が進んでいる工場です。これもやはり労働人口が少ない、ということからも必然的にそうせざるを得ないという理由もあるようです。

スエーデン国内の売上げは、1969年のデータで年間90億本と非常に少ない。今度の新しい工場が出来ると一年間の本数に匹敵する位のもので、これも人口800万程度ですからそんなものだろうと思えます。それから、販売価格は1961年以降は全く自由になっている訳です。

次は西ドイツにまいりますが、ドイツで初めてたばこ工場が出来たというのは、1788

年にハンブルグにシガーの工場が出来、それから葉巻の流行が始まったということになっております。それまで17世紀後半から18世紀終りにかけましては、かぎたばこ、すなわち匂を嗅ぐようなたばこが全盛だった訳です。現在西ドイツのたばこ事業は完全に民間事業の手に委ねられて、非常に自由な立場で行なわれている。製造高は1969年のデータで1,291億、日本の約半分ですが、その他にシガーとかパイプたばこが非常に多いということです。

葉たばこは、ドイツもあまり良い条件の所ではありませんで、年間9,000トン位、これは国内需要の5~6%で、あとの大部分はアメリカとか中南米、ギリシャ、ユーゴなどから輸入しております。又、日本からも原料を輸入しております。

西ドイツのたばこ工場の近代化は、他のヨーロッパ諸国に比して、相当進んでおりまして、先ほどのスエーデンの次くらいに位置していると考えられます。特に原料加工部門は優秀な機器メーカーの開発製品を争って導入しているというようなこともあるようです。ドイツの工場は、ほとんど2交代勤務で現在問題になっているようです。やはり日勤を望む人が多く、切り替えるように検討しているという工場が大部ありました。ドイツのたばこメーカーは17社ありまして、そのうち97%は大手4社で握っているのが現状です。

又、ドイツでは非常に自動販売機が普及しておりまして、約60万台あります。販売の約50%は自動販売機でということですから、おつりも包装されて出て来る仕組みになっております。ドイツは日本と同じく第二次世界大戦の敗戦国でありまして、戦後驚異的な復興を遂げたということでは日本と共通している訳ですが、一般にやる気は充分なように見られました。あと、3ヶ国か4ヶ国残ってるのですが時間がなくなったのでこれで失礼します。

### ◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
46. 12. 15	45名	35名	10名		
46. 12. 8	45名	34名	11名	11名	100%
在函クラブ	(12/2) 函館R.C. 91.94%	(12/7) 函館東R.C. 97.59%	(12/3) 函館五稜郭R.C. 100%		

次回例会日 12月29日

プログラム「映画」

(広瀬会報委員)

## The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所  
函館市若松町15-7拓銀ビル9階  
ロータリー合同事務所  
☎ (0138) 23-3870



例会場 函館市若松町拓銀ビル7階  
五島軒駅前支店  
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1971. 12. 29

1971~1972 第24号

### 第379回例会



Good Will

Begins With You

善意は先ずあなたから

(ブライトホルツR. I. 会長指針)

俣野純夫会員

本日のプログラム

映画「この美しき山河を」

### 第378回例会記録

- 「クリスマス家族会」のため、例会場・市民会館3F小ホールにて、午後5時30分より開催。司会・船矢健喜智会長、斉唱・奉仕の理想とつづいて午後6時より「クリスマス家族会」に入る。参加者、会員、39名、家族56名。
- 深瀬親睦活動委員長の挨拶のあと家族会の幕開けとなる。各自のテーブルの上の小さなローソクに灯がついて、会場のライトが少しづつ消えたあとで、「きよしこの夜」を皆ん